

第22回石川県ビーチバレーボール連盟会長杯 2人制・4人制バレーボール中学生練習会

開 催 要 項

- | | |
|-----|---------------------|
| 主 催 | 石川県ビーチバレーボール連盟 |
| 主 管 | 石川県ビーチバレーボール連盟 |
| 協 力 | 石川県中学校体育連盟バレーボール競技部 |
- 開催期日
令和8年 2月 8日(日) 4人制男女
午前8時45分より開会式 (開場は8時15分)
令和8年 3月22日(日) 2人制男女
午前8時45分より開会式 (開場は8時15分)
 - 会 場
白山市立光野中学校 第1体育館及び第2体育館
※開会式は第2体育館で行う
 - 参加資格
石川県内の中学生男女
異なる学校やチームのメンバーでの参加も可とする。
 - チーム構成
2人制：選手2名のみで構成され、コーチ1名を置くことができるが、コーチはベンチやコート外から指示を与えたりタイムを要求したりすることはできない。
4人制：選手4名+最大2名の交代競技者に監督(成人・教員でなくても可)1名を置くことができる。監督はベンチから指示を与えたり、タイムアウト(1回・30秒)や競技者交代(最大4回)を要求したりすることができる。
 - 競技規則
2人制：2025年度(公財)日本バレーボール協会ビーチバレーボール競技規則に準ずる。
4人制：同4人制競技規則に準ずる。6人制と異なる点は後述の付記を参考にすること。
 - 競技方法
・予選グループ戦ののち決勝トーナメントを行う。
・21点(打ち切りなし)1セットマッチとする。
・3位決定戦は行わない。
 - 試合球
(公財)日本バレーボール協会検定ビーチバレーボールを使用する。
男子：ミカサ VLS300 女子：モルテン V5B5000
 - 参加申込
申込み用紙に必要事項を記入の上、締切期日までに下記へメールで提出すること。
〒924-0013 白山市番匠町468番地1 白山市立光野中学校内
松田 典 宛
ts-matsuda@hakusan-city.ed.jp
 - 参加料
500円/人
※スポーツ保険料を含む
 - 申込締切
4人制：令和8年2月 2日(月)
2人制：令和8年3月16日(月) 必着のこと。
 - 抽 選
男女・各種別で参加チーム数に上限数を設ける。出場を希望するチームが多数の場合は抽選とする。
石川県ビーチバレーボール連盟で抽選を行い、組合せ結果を参加チームに送付する。

12. そ の 他

- 1) 参加選手は大会前に健康診断を受けることが望ましい。
- 2) 表彰は第3位まで行う。
- 3) 参加費は当日持参すること。領収書が必要な場合は申し出ること。
- 4) 本大会の問合せについては、上記申込先に連絡すること。
- 5) ケガや急病等については大会本部で応急手当のみ行う

【付記】

<共通>

- ・ネットの高さは男子2m30cm、女子2m15cmとする。
- ・どちらかのチームの得点が11点に達したときにコートを交替する。
- ・フリーポジション（ローテーションによるポジショナルフォルトはない）
- ・サービスはチームのサービスオーダーにしたがって行う。
- ・タイムアウトは1回（30秒）のみとることができる。要求は監督またはキャプテンが行う。
- ・コートは8m×16mとする。
- ・相手コートへの侵入は、プレーヤーに触れたり、プレーを妨害したりしなければ反則とはならない。

<2人制>

- ・ブロックへの接触は、そのチームの1回目のプレーとして数えられ、チームはその後更に2回のプレーができる。ブロックしたプレーヤーは連続してそのボールに接触することができる。
- ・アタックヒット中の指の腹部分を使用したティッピングは認められず、明確にボールをヒットしなければならない（6人制のアタックヒットの基準と異なる）。また、相手コートにオーバーハンドパスで返球する場合、ボールは両肩に対して直角で体は静止していなければならない。
- ・オーバーハンドでのレシーブは反則ではないが、強打以外で使用する場合、正しいハンドリングが出来ていないと反則となる。
- ・交代選手をおくことはできないので、サブスティチューション（メンバーチェンジ）は存在しない。

<4人制>

- ・ブロックへの接触は、そのチームの1回目のプレーとして数えられず、チームはその後更に3回のプレーができる。ブロックしたプレーヤーは連続してそのボールに接触することができる。
- ・アタックヒット中のティッピングは、ボールへの接触が明瞭であり、つかんだり、投げたりしなければ許される（6人制のアタックヒットの基準と同等）。
- ・チームにおける第1回目のプレーでオーバーハンドが用いられても、ボールが身体の数か所に連続しても、一つの動作中であれば許される。
- ・サブスティチューション（メンバーチェンジ）は1セット4回までとることができる（控えの選手2名と交代して戻ることができる）。
- ・監督はおくことができるが、必須ではない。